

# 都市・地域計画研究室

教員名：片山健介

## ● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

都市・地域計画学の研究対象は、人々が住み、働き、学び、憩う場所そのものです。片山研究室では、行政、民間企業、住民などその場所に関わる人達が協力しながら、よりよい都市・地域をつくっていくための**地域計画・まちづくりの制度や協働の仕組み**について研究しています。



中心部・運河沿いの再生事例（バーミンガム）

研究テーマの例：人口減少・環境共生時代の地域づくり

多くの都市では、交通手段の発達によって人々の生活圏が広がり、市街地も市町村を越えて拡大しました。しかし、人口減少時代に入り、郊外での生活サービスの維持や、中心市街地の衰退、自動車依存によるCO<sub>2</sub>排出、若年層の流出などの問題が生じています。



EU基金を活用した農村振興の事例（クロパニー）

研究室では、環境にやさしい都市構造の実現、医療など生活サービスの維持、産業振興・雇用創出に取り組むための地域計画・政策や、関係市町村、経済団体、民間事業者などがどのように連携しているのかについて、国内外の都市圏の事例を調べ、これからの日本の地域づくりに役立てようとしています。



コンパクトシティと交通政策の事例（富山市）

## ● 先輩はどんなところに就職しているの？

2014年度に開設された研究室のため卒業生は少ないですが、銀行、生命保険会社、商社などに就職しています。